

この山に登ろう④

そうこやま
宗箇山 356m

広島市西区三滝



太田川放水路から望む宗箇山

広島県山岳連盟 事業部長 **松島 宏**

新庄山、三滝山、植松山とも呼ばれています。名前は広島が生んだ茶道宗箇流の開祖上田宗箇が縮景園の借景として頂上に赤松を植えたことに由来します。JR横川駅から登れる身近な山として広島市民から愛されています。1998年（平成10年）枯れた三代目宗箇松を復元させる運動に広島県山岳連盟も協力し四代目宗箇松が植えられ案内板も設置されました。広島市民が「元旦に初日の出を拝みに登る山」としても有名です。JR横川駅からのハイキングコースを紹介しましょう。

横川駅北口から太田川放水路の土手に向

かって西に進みます。三篠小学校の裏を通り土手に上がると正面に台形状の宗箇山が見渡せます。春は桜、秋は紅葉の名所として有名な三滝寺に向かいます。三滝橋の歩道橋を渡るとむすびのむさし三滝店があり弁当も買えます。誓願寺にぶつかり右に曲がり、古い桜並木を登ると、真言宗「三瀧寺」（三滝観音）に至ります。標高70m。寺の駐車場は参拝客のためにあるので登山者は置かないようにとの張り紙があります。ここまで30分。

三滝寺からは時計回りのAコースと、反時計回りのBコースがあります。下りのことを





三滝寺駐車場



双子岩



4代目宗箇松

考えると、急傾斜のBコースから登り、緩やかなAコースを下りてくることにしましょう。寺に入るとすぐにABコースの分岐があり分岐を右に進みます。三滝ライオンズ山荘の前を通り、谷沿いの道を進むと道は傾斜を増し、三回のジグザグを経て尾根の上の峠(標高170m)に到達します。長束への分岐です。右に尾根を登れば三角点のある大原山(224m)、左に向かい防火帯の尾根に沿って登っていくと広島市内の素晴らしい眺望が現れます。送電線の鉄塔を過ぎしばらく登ると、絶好のビューポイント双子岩に到達。見晴らしが素晴らしく、岩の上に登って眺めを楽しみましょう。

双子岩を過ぎると尾根道は傾斜を増し、頂上直下の急傾斜の暗い林を抜けると、いきなり頂上に出ます。標高356m。横川駅の標高はほぼ0mですから正味これを登ったこととなります。四代目の宗箇松と案内板に注目してください。頂上からは広島市内や広島湾、安芸の小富士の似島、宮島などが見渡せます。最近雑木が茂り少し眺望が悪くなってきています。

下山コースはAコース。西にほぼ水平に進んでいくと左がうっそうとした竹林です。やがて分岐が現れます。分岐を右に下りると、車道に下り大茶臼山おぢやうやまや丸山へ登れます。分岐をまっすぐ尾根沿いに下りてゆくと林の中に高峠山たかとうやまへの新たな分岐が現れます。三滝寺への看板にしたがって左に下りていきます。送電線の鉄塔を過ぎると竹の密林に入り、谷を堰堤まで下ります。堰堤の少し下が三滝寺本堂です。本堂のすぐ裏に三滝の名水が湧き出しています。下りてゆくと六角堂ぼんかくんの滝を右手に見て参道には四国八十八箇所の石仏、十六羅漢、歌碑などが続きます。鐘楼を経てスタート地点のAB分岐に戻ってきます。分岐の近くに茶房空天庵くわてんあん、県重要文化財の多宝塔があります。

三滝寺は809年にでき、昨年開創1200年を迎えました。お寺の参拝だけでも楽しいのですが、宗箇山の登山(約二時間)を加えることにより素晴らしい名所となります。春の桜と秋の紅葉シーズンは多くの人で賑わいます。横川駅から3時間程度で楽しめる絶好のハイキングコースとしてお勧めいたします。

(まつしま ひろし)



宗箇松説明板



A・Bコース分岐